3-3 ディスプレイの色調整①

画像処理を行うパソコンのディスプレイ（モニタ）に表示されている色が、本当にsRGBやAdobe RGBで規定されている色なのかどうか——という問題がある。そのため、ディスプレイに表示される色を適正に調整するディスプレイ・キャリブレーションという処理が必要だ。ここではまずキャリブレーションのための専用の機器について紹介しよう。

低価格ながら高機能なディスプレイ最適化ツール

プロの使う本格的なキャリブレータは高価で、アマチュアはおいそれと手が出せない。そこで、本格的な製品ほど厳密ではないけれど、Mac OSのシステム環境設定から行うディスプレイ調整よりは遥かに正確に調整のできる低価格な製品を紹介しておく。

スイスのグレタグマクベス社（現エックスライト社）が開発したhuey（ヒューイ）だ。測定器とソフトウェアがセットになっており、外部の環境光を測定しながらリアルタイムでディスプレイの色調を調整してくれる。

本格的なキャリブレータが10万円程度はするのに対し、hueyは1万5000円弱と非常に低価格だ。詳細はhttp://www.koyoshagraphics.com/huey/ で確認していただきたい。

なお、hueyはディスプレイ・キャリブレータではなく「自動モニタ最適化ツール」とされている。

本格的なディスプレイ・キャリブレータによる作業風景——ディスプレイに表示されたチャートを測定して厳密なカラープロファイルを生成する

ホームユース用に考えられた簡易ディスプレイ・キャリブレータ、X-Riteのhuey